

TOHATSU

PARTNER

2016年1月1日発行 / 新年号

VOL.97



Photo: 第22回全国女性操法大会 (福岡市早良女性消防団)

CONTENTS

●年頭ご挨拶	P2	●救助用ボート納入	P6
●「消防長官表彰」	P3	●水陸両用車デモ走行、同乗体験	P6
●おおさき産業フェア 2015	P3	●山形県尾花沢市消防団機関員講習会	P7
●駒ヶ根ハーフマラソン総合2位	P3	●北海道講習会	P7
●北海道トーチポンプ会総会	P3	●関西トーチポンプ会サービス研修会	P7
●トーチポンプ中央会秋季総会	P3	●秋期トーチポンプセールス研修会	P7
●全国女性操法大会優勝	P4	●瀬戸市3団体様が駒ヶ根工場見学	P7
●横浜ボートフェア 2015	P4	●川崎市中原消防団様が駒ヶ根工場見学	P7
●2015 りんくうボートフェア	P5	●マリン・カーニバル 2015	裏表紙
●第11回茨城ボートフェア	P5	●トーチ船外機「下町ロケット」に出演	裏表紙
●浜名湖合同試乗会 in 新居マリーナ	P6	●RISCON TOKYO 危機管理産業展 2015	裏表紙
●第1回沖縄ハイエースミーティング in 沖縄	P6		



トーチ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>



平成 28 年 年頭ご挨拶

トーハツ株式会社
代表取締役社長 日向 勇美

平成 28 年の輝かしい新年を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

平素パートナーを御愛読の皆様には格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年 of 日本経済を振り返りますと、一昨年からのアベノミクス効果で株高、円安が進み、一時は日経平均株価が 2 万円を超え、為替も 1 ドルが 124 円を超える水準で推移致しました。昨年 3 月期決算では好業績を達成した企業が多く、本格的な景気の回復へ期待が持てたことかと思ひます。然しながら、昨夏に台頭した中国の景気減速懸念による世界同時株安の進行を背景に、状況は一転し、日経平均株価が 17,000 円台へ戻す等、その後は先行きが読めぬ状況が依然として続いております。日本の景気は足元では緩やかな回復とされるも、昨年 8 月以降、政府の月例経済報告では「横ばい」だった輸出が「弱含み」へ、又「持ち直しの兆し」があった個人消費が「底堅い動き」へ基調判断を下方修正しており、踊り場の日本経済が暫く続く様に感じ取れます。

さて、弊社は昭和 31 年（1956 年）に日本で初めて船外機の製造、販売を始めましたが、皆様のお陰で、船外機の製造、販売を開始して以来、今年で丁度 60 周年の節目を迎えることが出来ました。これまでの皆様の御支援に対し、心から御礼申し上げます。

この 60 年間、2 馬力～140 馬力 2 ストローク船外機、2 馬力～50 馬力 4 ストローク船外機、並びに 40 馬力～115 馬力 TLDI（2 ストローク直噴）船外機とラインナップを拡充して来た他、世界 100 ヶ国に及ぶ海外販売網の構築、マーキュリー・マリーン社をはじめとした他社との協業事業の展開等々により、弊社では船外機事業を拡大して参りました。前述の通り、昨今は先行き不透明の経済環境下では有りますが、日本で初めて船外機を開発した当時をもう一度思い起こし、今期より経営方針の 1 つとして「未来を切り開く技術テーマへの取り組み」を新たに掲げ、開発投資を積極的に推進しております。今後、皆様の期待を超える様な新たな技術、そして新たな製品開発にチャレンジして参りますので、引き続き御支援、御鞭撻を賜ります様宜しく御願ひ申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとりまして幸せな年となります様、心から祈念申し上げます、年頭の御挨拶とさせていただきます)

トーハツ(株)取締役防災営業部長 青山滋氏 「消防長官表彰」を受賞

すがすがしい秋晴れのもと、平成 27 年度消防設備関係功労者等表彰式が 11 月 4 日（水）明治記念館で執り行われました。

授賞式には全国から多数の業界功労者が出席し、この 9 月に就任された佐々木消防庁長官より祝辞と賞状が授与されました。その中、当社より永年に渡り消防業界に尽力された功績が認められ、青山取締役防災営業部長が消防長官表彰を受賞されました。授賞式では関係者より祝福の声をかけられたり、記念撮影にと笑顔で応じられていました。

祝賀会では、日本消防ポンプ協会高橋常任理事とともに、大好きな日本酒で祝杯をあげ終始上機嫌でありました。（防災課/山口）

27年度 消防設備関係功労者等 表彰式



おおさき産業フェア 2015 ～水陸両用車展示～

去る 10 月 23 日（金）～ 24 日（土）に宮城県大崎市の大崎市古川総合体育館にて「第 6 回おおさき産業フェア 2015」が行われました。

（株）古川ポンプ製作所様のブースの一部をお借りして水陸両用車の展示をさせていただきました。9 月の台風 18 号による河川が氾濫したニュースはご存じのことと思います。大崎市も被害を受けておりその影響もあってか来場された方からは「これは、レスキューに使える。」などの声を多く聞くことができました。

また、同ブースでは VF21BS を使用して放水体験なども行っており、消防・防災に対する意識を高める事が出来ました。

今回、出展に対してご協力いただきました（株）古川ポンプ製作所様には厚く御礼申し上げます。（消防車両課/白澤）



トーハツ陸上部の高梨さん 駒ヶ根ハーフマラソン総合2位

今年で第 3 回目となる駒ヶ根ハーフマラソンが 9 月 27 日（日）に開催され、トーハツ陸上部所属の高梨良介さん（トーハツマリン製造第二課）がハーフマラソンの部で、総合 2 位という成績を残されました。

前大会圧倒的な走りで 2 連覇中の選手を前半から引き離し、トップを行く愛知県の実業団の選手を諦めずに前を追いしました。高梨さんは終始順位を守り切り見事 2 位でゴールいたしました。

高梨さんは、高校時代に全国高校駅伝にも出場し、長野県内でも優秀な成績を残されておりました。大学進学はしないで、働きながら競技を続けられる当社への道を選択しました。業務が終わった夜の練習はほぼ毎日欠かさず励んでおり、更なる競技への飛躍を目指しております。今後の目標は、個人では来年の駒ヶ根ハーフマラソンの優勝と高校時代の 5000 m の自己ベスト更新（14 分 52 秒）ということです。団体では、年末に開催される長野県縦断駅伝大会で上伊那チーム優勝に貢献する走りをしたいということです。

今大会は、他のトーハツ陸上部の選手も 10 位台に 3 名入る等活躍されました。（12 位：木村和也さん 製造第二課、13 位：田中秀一さん 製造第二課、17 位：北原英一さん 資材課）トーハツ陸上部の皆さん大変お疲れ様でした。今後更なるご活躍をお祈り致します。（トーハツマリン/池上）



北海道 トーハツポンプ会総会

北海道は向寒の季節を迎えた 11 月 18 日（水）、平成 27 年度北海道トーハツポンプ会総会が札幌パークホテルにて開催されました。

冒頭に、発足時より会員でご活躍なされた中央防災(株)須藤邦夫様が今年ご逝去された事に哀悼を含め黙祷を捧げました。

八木会長様（北海道消防機材(株)、社長の日向、中川社長様（株）北海道モリタ）の挨拶があり、その後会員様とトーハツでの業界、地域の情報交換を行いました。弊社への要望等を含め活発な意見を頂き大変有意義な集いとなりました。

また、来年度の事業計画として道外（広島）で総会を行う事も決議されました。

会員の皆様並びに事務局北海道モリタ様には御多忙の中お集まり頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。（防災課/山口）



トーハツポンプ中央会 東京都内にて秋季総会を開催

トーハツポンプ中央会では、去る 11 月 13 日（金）、東京駅ほど近くの AP 東京八重洲通りにて、秋季総会を開催いたしました。2 部構成にて開催された総会の第 1 部では中央会の事業報告や来年度の事業計画などについて討議いたしました。また第 2 部では逆井会長、トーハツ(株)社長日向の挨拶の後、トーハツ(株)部長青山より業界の近況と動向などの報告がありました。また、各販売店様からの近況報告もいただく中で、厳しい状況の中でも今後の拡販に向けた前向きなご意見を多数いただくことができました。

会の終盤にはトーハツクラウドシステム（車両位置情報システム）など新たな事業の紹介も行き、好評をいただきました。

遠路ご出席賜りました会員の皆様には、誌上より厚くお礼申し上げます。（防災中央/桑澤）



全国女性操法大会優勝

トーハツV10G大活躍「リコイルスタータの軽さに感激」

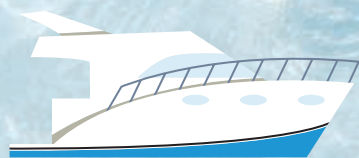
第22回全国女性操法大会が、去る10月15日（木）に、神奈川県横浜市にある横浜市消防訓練センターで行われ、各都道府県の代表46チームが日頃の厳しい訓練の成果を披露しました。本来ならば、47チームの代表にて大会が行われる予定でしたが、茨城県代表は、平成27年9月の関東・東北豪雨による被害のため、残念ながら出場辞退となりました。本大会は2年に1回の開催となっており、1チーム5人、台車に乗せたD1級ポンプを使用しての競技となっております。

大会前日には器具点検が行われ、器具に異常がないかを確認します。その中で、真空ポンプの排水をキャッチする器具が取りついていないチームは、ペットボトルを加工してその場で取り付けることも行っていました。

秋晴れの中、定刻の9時30分に入場行進が始まり、10時30分より競技が開始され、張り詰める緊張感の中、素晴らしい演技を披露していきました。演技が終了した選手の中で感極まって泣き崩れる選手も出るなど、操法競技の厳しさも垣間見えるところもありました。

選手及び関係者の皆様、そして地元の応援団の皆様大変お疲れ様でした。
(防災中部/高橋)

順位	都道府県名	消防隊名	メーカー
優勝	1	福岡県 福岡市早良女性消防隊	V10G
準優勝	2	山口県 下関市女性消防隊	他社
準優勝	3	栃木県 小山市女性消防隊	V10G
優秀賞	4	埼玉県 鴻巣市女性消防隊	V10G
優秀賞	5	富山県 小矢部市女性消防隊	V10G
優秀賞	6	長崎県 佐世保市女性消防隊	他社
優良賞	7	兵庫県 南あわじ市女性消防隊	他社
優良賞	8	山梨県 甲州市女性消防隊	他社
優良賞	9	佐賀県 嬉野市女性消防隊	V10G
優良賞	10	岐阜県 七宗町女性消防隊	V10G
優良賞	11	広島県 東広島市女性消防隊	他社
優良賞	12	京都府 京都市左京女性消防隊	他社



横浜ボートフェア

2015

10月9日（金）～11日（日）に今年も横浜ベイサイドマリーナに於いて、日本マリン事業協会関東支部主催の「横浜ボートフェア2015」が開催されました。

今年は3日間共まずまずの天気に恵まれ、アウトレットモールを併設したベイサイドマリーナは多くの人で賑わいました。

今年も国産艇メーカーに輸入艇の他、高品質の中古艇を含め、28隻も一度に展示しているとあって、昨年を上回る約1,000人もの方々が訪れ、熱心に展示艇を見学しておりました。

そんな中、我がトーハツはトイレ付和船で話題のモデルTFW-25Rを出展しました。秋の釣シーズン真最中とも相まって、太公望達がTFW-25Rのポテンシャルを隅々まで確認していました。そんな熱心なお客様大勢に丁寧に展示艇をご案内し、盛況の内に今年のフェアは幕を閉じました。
(マリン関東/飯島)



2015 りんくうボートフェア

10月10日(土)～11日(日)の2日間、中部国際空港に近い常滑市のNTPマリーナりんくうに於いてりんくうボートフェアが開催されました。

中部地区最大級のNTPマリーナりんくうは休日ともあり出航される方も多く立ち寄られ、これからボートオーナーを目指す来場者の方は普段では感じられない優雅なロケーションにボートオーナーへの夢を膨らませていました。

当社は陸上ブースに免許不要艇、ゴムボートにもベストマッチの2馬力船外機MFS2BSの展示を行い、未だ免許不要で乗れるボートを御存じない方にも積極的にPRを行いました。

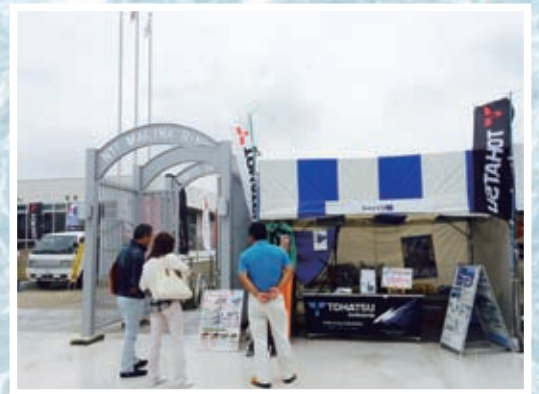
中には普段からミニボートで遠方まで釣りに出掛けられる方もお越しになられ、行く先々でトローハツ船外機の利用者が多いこと大変驚かれ、信頼の高さから他のユーザーにも勧めているとお声掛けもいただきました。

フローティング会場では当社レジャー和船 25フィートTFW-25Rに4サイクルBFT90Aを搭載したT-TOP仕様の試乗艇を用意し試乗会を開催いたしました。

玄人好みの和船にデッキの広さ、釣りのし易さ、他では無いトイレ装着が可能とのこと大変興味を持たれ、現実的なコストパフォーマンスに試乗された方の満足度も高く、現在20フィートをお持ちの方は、ステップUPを目指しており、やはり和船の良さにたくさんの質問をいただきました。

また当社レジャー和船を既に知っている方の多くはレンタルボートで釣りをした方も多く、中部地区のレンタルボートに使用されている認知度の高さから、販売店の方への紹介にも力が入りました。

ご来場頂きました販売店様に厚く御礼申し上げます。(マリン中部/田中)



茨城ボートフェア開催

ボートフェア会場に近づくと、ダイナミックな航海を思い描かせるように、壮大な帆を広げた大型帆船「海王丸」が出迎えていました。いますぐにボートに乗って出港したいという衝動に駆られるような雰囲気にも包まれていました。

すがすがしい秋晴れの下、10月24日(土)～25日(日)の2日間、茨城県大洗マリーナにて第11回茨城ボートフェアが行われました。

当日は、隣接された茨城港(旧大洗港)にて、大洗町政60周年を記念したイベントが開催され、地元グルメの屋台が数多く並ぶとともに、帆船「海王丸」の入港により華やかさが増し、近県からは多くの方が来場されました。

国内メーカーが出展する中で、当社試乗艇では、Tトップ艤装を施したTFW-25Rをご用意しました。秋空と同じように晴れやかなハルカラーのTFW-25Rは、余裕のある広いデッキスペースを利用しつつ、それぞれのユーザーに合わせた艤装により、幅広い楽しみ方ができるボートです。4ストローク船外機BFT90Aによるパワフルさと抜群の燃費が特徴となり、試乗された方々には好評を得ていました。

一方、TFW-17Rは、トレーラーに載せ陸上展示。普段マリンレジャーに関心のない来場客にもアピール。エコスポーティデザインMFS50Aのスタイリッシュな船外機とリーズナブルな価格にて本格的なボート遊びが楽しめるとして、幅広い客層に興味を持っていただきました。

マリン関連レジャーへの入口は様々ですが、普段近寄りたがたいマリーナやボートへの関わり方も伝えることができ、家族や仲間での笑顔が想像できるイベントとなりました。

(マリン課/大坪)



浜名湖合同試乗会 in 新居マリーナ

秋の試乗会シーズン初の試みとして、10月17(土)～18日(日)、浜名湖にて新居マリーナ様・スギウラマリンサービス様・神村マリンモータース様の合同試乗会が開催されました。参加メーカーもトーハツを始め、SUZUKI 様及び YANMAR 様から計5艇の試乗艇がスタンバイ、心配された天候も天気予報が見事に外れ、爽やかな秋晴れの中、2日間に渡り来シーズンに向けての商談が活発に行われました。

当社は陸上ブースにカタログや業務用合羽を展示、試乗艇にはTFW-25R + BFT90A セット艇とTFW-21B2 + MFS50A セット艇を用意し試乗を行いました。TFW-21B2は神村マリンモータース様の艤装が入り、ブラックハルにリペイントされる等精悍さが増して好評でした。

期間中は開催場所となった新居マリーナ様すぐ横の競艇場イベントスペースにて、車やバイクを始めとしたカリフォルニアカルチャーの一大イベント「キャルフレーパー2015」が開催されており、周囲の道路は始終大渋滞…。試乗会来場者も渋滞に巻き込まれ、朝一はお客様が辿り着けず、一時はどうなることかと思われましたが徐々に試乗希望者が来場され、一時は順番待ちとなる程盛況となりました。

試乗艇の評判も上々で、見た目以上にスピードが出ることや凌波性・安定性も想

像以上との声を沢山頂くこととなりました。前日に試乗艇のハッチ開閉部を艤装したことにより、ハッチの使い勝手も向上し、好評を博しました。真剣に乗り換えを御検討中のお客様も来場され、非常に有意義な2日間となりました。

開催にあたり多大なる御協力を頂いた新居マリーナ様、スギウラマリンサービス様、神村マリンモータース様に厚く御礼申し上げます。(マリン関西/石丸)



第1回 沖縄ハイエースミーティング in ネイチャーみらい館

全国でも盛んに行われて人気のあるファンが集い「ハイエースミーティング」を沖縄県で初開催。

多くのハイエースユーザーが集まっていたり、ハイエースユーザーによる自慢のクルマを展示したカスタムショーや、専門ショップによるカスタム・活用方法などの情報交換の場を提供し、「沖縄体験専門 ネイチャーみらい館」にて11月15日(日)に開催されました。

主催：沖縄トヨペット株式会社

共催：特定非営利活動法人 雄飛ツーリズムネットワーク (ネイチャーみらい館)

協賛：沖縄トヨタ自動車部品共販部・デンソーサービス沖縄

運営：ハイエース実行委員会

11月14日(土)は、設営時には雨というあいにくの天気で、本番の日曜日の天気が心配されましたが、皆様の思いが通り朝から晴天になり、続々とエントリーしているハイエースが集まり自慢のカスタムをお披露目していました。

販売店でもある DASH 様も自慢のハイエースをエントリーし、ハイエースを活用した DASH オリジナルポート「DASHmini」船外機は、MFS2BS の魅力をアピー

ルした展示をしました。オリジナルポートの「DASHmini」は、ハイエースの標準タイプに楽に積み込み、みなさん口を揃えて、「ワイドタイプじゃなくて標準で入るんだ!」と驚いていました。

魅力あるオリジナルポートや船外機を念入りに品定めされるお客様が目立ち、沢山ののお客様で賑わっておりました。DASH 様の力添えもあり船外機 MFS2BSx 3台成約することが出来ました。

コンテスト結果発表では、3位までには入れませんでした。11月15日(日)が誕生日でもありました黒住社長にサプライズプレゼントが手渡されました。次回も開催されることを期待しております。

DASH 様を始め、関係者の方々へ厚く御礼申し上げます。

(マリン九州/平野)



救助用ボート納入

地域防災の強化・整備を図る栃木県矢板市へ、救助用ウレタンボートとトーハツ船外機が去る10月27日(火)同市塩谷広域行政組合消防本部矢板消防署に配備されました。

このボートは、気室内にウレタンが注入されており、穴が開いても沈まないのが最大の特徴で、海、川、湖だけでなく漂流物のある災害現場での活躍が期待されます。一方装備面では救助者をボートへ引き上げる救助用ネット、陸上での運搬を容易にする車輪及びハンドル、トーハツ最新の4ストローク船外機 MFS20D を搭載しております。

納入後に近くのダムにて試乗を行いました。装備の充実により一層の防災対策の推進が期待されます。なお、救助用ウレタンボート・トーハツ船外機をご採用頂いた塩谷広域行政組合消防本部矢板消防署様、またご尽力頂いた栃木県消防整備株式会社様、関係者の皆様には心からお礼申し上げます。(消防車両課/後藤)



水陸両用車デモ走行、同乗体験を実施

去る9月26日(土)～27日(日)に宮城県東のSUGO スポーツランドにて宮城トヨタ自動車株式会社主催の“2015 宮城トヨタグループ「モーターフェスティバル in SUGO」”が開催され、水陸両用車の展示並びに同乗体験イベントに出展させていただきました。

前日に敷地内にてデモ走行も行い山道や池を走行させていただきました。泥や坂、障害物ものともせず車両は進んで行き、改めてスペックの高さに驚かされました。

イベント初日はあいにくの雨でしたが、2日目は天気に恵まれ多くのお客様が来場されました。このイベントは車をより楽しんでもらうとの趣旨で開催されており、プロドライバーの方によるドリフト体験なども行われており非常に盛り上がりました。

水陸両用車の同乗体験も人数限定で行われましたが、予定枚数のチケットがあっという間に無くなってしまいました。体験されたお客様から「楽しかった!」との声を多く聞くことができイベントのテーマである「お客様に楽しんでいただく」ことができたと感じています。展示時には車両のスペックや活用方法などの質問が多く寄せられました。今後も精力的にデモ活動を行います。

今回、イベント参加にお声かけくださいました宮城トヨタ自動車株式会社様には厚く御礼申し上げます。(消防車両課/白澤)



平成27年度 山形県尾花沢市消防団機関員講習会

去る10月25日(日)小雨が降る中、山形県尾花沢市消防署にて消防団機関員講習会が開催され、約40名の消防団機関員が参加しました。

ここ尾花沢市では毎年機関員に対して講習会が行われており、講習会の他、ポンプ性能検査も同時に行われました。

講習会は、ポンプ基礎講習(座学)と中継送水実技の2本立てで、午前中の前半と後半に分け、2回ずつ実施。

ポンプ基礎講習では日常メンテナンスや中継送水の方法を学び、その後中継送水の実演へ…。中継送水を開始する前に再度、中継送水の方法や注意点等を説明し、機関員に操作してもらいましたが、団員の入れ替わりやその後の引き継ぎ等がうまく出来ていないため、皆様苦勞されていました。中継送水訓練時ホース10~20本分の代わりとして使う「安全ノズル」やポンプを保護する「コワレンゾー」は所持していないとのことで、当訓練は通常より圧力を下げた状態で行いました。

今回、参加人数が多く限られた時間の中での講習会となり、一人ひとり全ての機関員に操作してもらうことが出来ませんでした。実際の現場で正しく中継送水が行えないと人命に関わってくるため、今後の講習会では機関員一人ひとりに理解してもらえるように指導していきたいと思います。
(サービス室/新井)



北海道講習会

弊社主催による「北海道講習会」が去る9月17日(木)に、(株)北海道モリタにて開催され、計12名の方が参加して行われました。

講習は、ポンプ基礎講習(座学)、操作方法の説明(VF21を使用)、トラブルシューティング(V20ES-Rを使用)の内容で行われました。参加された方は、我々が説明した操作方法や注意点などを真剣に聞いておられ、実際にポンプを運転していただき、積極的に実技を受けられていたのが印象的でした。トラブルシューティングでは、多少戸惑うところも見受けられましたが、意見を出し合い、協力しながら取り組んでいたのが印象的でした。



講習会開催にあたり会場をお貸し頂きました(株)北海道モリタ様、誠にありがとうございました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。

また、この度ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。

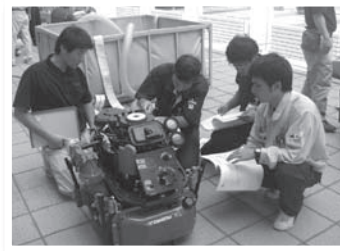
(サービス室/河村)

平成27年度 関西トーチポンプ会サービス研修会

関西トーチポンプ会主催による「平成27年度 関西トーチポンプ会サービス研修会」が去る8月5日(水)に香川県高松市にある勤労者福祉センターの高松テルサで、8月6日(木)に大阪府大阪市中央区にあるOMMビルにて開催され、計38名の方が参加して行われました。

研修は、VC、VFの「トラブルシューティング」の内容で行われました。両日とも蒸し暑い日でしたが、参加された方は、その暑さにも負けず、次々とトラブルを解決しており、とてもやる気に満ち溢れていた研修会でした。

参加者のご協力もあって、2日間の研修会を無事終えることができ、誠にありがとうございました。重ねて誌上より厚く御礼申し上げます。また、この度参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。
(サービス室/河村)



平成27年度 秋期トーチポンプセールス研修会

弊社主催による「平成27年度 秋期トーチポンプセールス研修会」が去る10月9日(金)に弊社駒ヶ根工場トレーニングルームにて開催され、計12名の方が参加して行われました。

研修は、VCの「トラブルシューティング」及びVFの「バルブクリアランスの調整方法」、「タイミングベルトの交換方法」の内容で行われました。ご参加していただいた方の中には、経験豊富な方もいて、ポンプのことをあまりご存知でない方に色々なことを教える等、お互い助け合いながら研修を受講されていました。

1日間という短い時間でしたが、皆様のご協力もあって充実した研修会を無事に終えることができ、誠にありがとうございました。今後は、今回開催した研修会の内容を見直し、より内容の濃いものへと変化させていきたいと思っておりますので、ぜひ次回の研修会もご参加いただけたら幸いです。



また、この度ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。

(サービス室/河村)

瀬戸市の3団体の皆様が駒ヶ根工場を見学

晩秋の肌寒さを感じさせる11月20日(金)、瀬戸市防火協会連合会様・瀬戸市危険物安全協会様・瀬戸市自衛消防連絡協議会様が駒ヶ根工場を見学されました。

瀬戸市様は、C1級ポンプを使用され防火を行っていることもあり、工場見学の際には、組み立てライン、運転設備を見学され、消防ポンプが出荷されるまでに各検査をし、出荷されていることに大変興味を持たれ、意義のある工場見学をなされておりました。

瀬戸市各団体の皆様の益々のご活躍を祈念いたします。この度は、遠路工場見学に来社していただき、ありがとうございました。
(防災中部/高橋)



川崎市中原消防団大戸分団様 駒ヶ根工場を見学

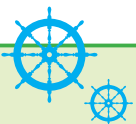
去る10月27日(火)、川崎市中原消防団大戸分団の皆様が駒ヶ根工場の見学に来られました。冒頭松原工場長よりトーチポンプの歴史や駒ヶ根工場の概要、またDVDを使ってお弊社の製品の紹介をいただき、早速工場見学へと向かいました。今回は少人数の為普段では中々見ることができない、消防ポンプを構成している部品の加工現場なども見て回ることができました。ポンプの構成部品も素材の状態を見るのは初めてで、これらの素材が精密な加工を繰り返すことで1つの部品が出来上がり、それらを組み合わせて1台のポンプが作られていることを説明させていただきました。実際に組み立て現場や運転場、一通りの工程を見てもらい、完成品置き場では海外向けのポンプの多さにも驚かれておりました。

短い時間ではありましたが、非常に中身の濃い工場見学に消防団の方も満足されておりました。遠路お越し下さった中原消防団大戸分団の皆様、ありがとうございました。
(防災中央/桑澤)





マリン・カーニバル 2015 @ららぽーと豊洲



シーズン初の真夏日となった7月11日(土)～12日(日)、人気の臨海スポットにある複合商業施設ららぽーと豊洲にて「マリン・カーニバル 2015」が開催されました。

普段マリンレジャーに関心の無い方々にその楽しさを体感してもらうという試みの下、高い集客を誇る当施設での開催となりました。

当社は「誰でも気軽にボート遊びを」をテーマに、ライトウエイト&エコスポーツで人気のMFS50Aを搭載したTFW17-Rをトレーラーにセットして展示しました。シンプルな作りのTFW-17Rは自分で艀装するのも魅力の一つであり、来場された皆様のカスタマイズに思いを巡らす姿が印象的でした。

一方でミニボートユーザーに免許不要で人気の定番モデル MFS2B を展示し、その手軽さをPRしました。免許不要で乗れるモデルがあることはあまり知られてなく驚きの声が多く聞かれました。

夕方になると買い物帰りの家族連れで賑わい、展示艇に乗船しハンドルを握り船長気分のお子さんを写真に収めるご両親の姿が多く見られ会場をほのぼのとした雰囲気でも包み込みました。

新入社員の私にとって今回が初めてのイベントであり、満足いく対応とは言えませんが、来場いただいた多くのお客様がマリン製品に触れてもらえる良い機会となりました。次回はより製品知識を身につけて臨みたいと感じた2日間でした。
(マリン課/松下)



トーハツ船外機 「下町ロケット」に出演



昨年のTBS人気ドラマ「下町ロケット」。

町工場でありながらも、持ち前の技術力を駆使してロケットを飛ばす夢へと果敢にチャレンジしていくという池井戸潤原作のこのドラマ、ご覧になった方もいらっしゃると思います。

その第3話で、主人公 佃製作所社長の佃航平(阿部寛)と、後に技術開発部長を務める事となる山崎光彦(安田顕)が出会い、ロケットエンジンの先駆けとなる小型モーターボートエンジンの開発を通じて、夢を決してあきらめない佃航平の情熱に引き込まれていくという大事なシーンに、「佃製作所 第一号」としてMFS2Bが登場いたしました。
(マリン課/藤川)



RISCON TOKYO 危機管理産業展 2015

～トーハツクラウドシステム TCS-I お披露目～

去る10月14日(水)～16日(金)東京ビッグサイトにて危機管理産業展 2015が開催されました。来場者数は昨年度の54,000人を上回る約57,000人の方が来場され、多発する自然災害などの影響により危機管理に対する関心の高さを感じました。

当社は大型特殊自動車として、ナンバーを取得した水陸両用車、可搬消防ポンプ(VF21BS、V10G、VC72PRO II)、防災・救助用品、そして今回の目玉であり、初お披露目となる「トーハツクラウドシステム TCS-I」の展示を行いました。

「トーハツクラウドシステム TCS-I」は消防車両の位置情報を正確に本部で把握でき、本部と消防団員(分団)の相互連絡が可能で、様々な防災情報を必要に応じて現場へ配信します。また、車載カメラによって災害時の現場映像をライブ中継し、本部より応急活動のよりの確な指示、住民への迅速な避難勧告を可能とするシステムです。

トーハツブースに来場された方々は、このシステムに大変興味を持たれており好評を得ました。本部と団員が繋がることで活動が円滑に、安全に行えると感じます。

期間中は多くの販売店様並びにご関係者様が数多くご来場していただきましたことを誌上にて厚く御礼申し上げます。(消防車両課/白澤)



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 牧 邦治/青山 滋